

『数学A』シラバス

科目名	学科	学年	必修/選択	単位数
数学A	食品化学科	3年	必修	2単位

1. 科目目標と使用教材

科目目標	集合と論理、場合の数と確率、平面図形について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。
使用教材	教科書 高等学校新数学A（啓林館）

2. 学習計画

学期	学習項目	学習目標
1 学 期	いろいろな図形の計量 集合 順列・組合せ 確率の意味 確率の加法定理 独立な試行 期待値	基礎基本からさらに複雑な問題まで考察していきます。 集合についての基礎・基本を学び、様々な場面で活用し順列組合せを利用して数え上げの内容を深く取り組みます。 確率について基礎・基本について学びます。 身近な例を取り上げ、複雑な問題にも挑戦します。
2 学 期	1, 2年生の総復習 進学就職試験対策 三角関数	進学試験や就職試験の対策を中心に行い、数学Aの理解、さらには数学の内容まで取り上げながら確実に習得するよう演習していきます。 図形と計量で学んだ三角比を少し拡張した分野を学びます。
3 学 期	1年間の総まとめ	1年間の復習を行います。

3. 学習方法

授業は基本的に教科書に沿って進めていきますが、理解の度合いによって1, 2年次の復習を適宜入れていきます。ノートは必ず1冊用意しておきましょう。進学や就職の際の試験にも対応できるよう授業を組み立てていますので1問1問しっかりとこなしていきましょう。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	数学的活動を通して、平面図形、集合と論理及び場合の数と確率における考え方に興味を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
思考・判断	数学的活動を通して、平面図形、集合と論理及び場合の数と確率における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。
技能・表現	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。
知識・理解	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。

5. 成績評価

1・2学期	中間	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="4">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点				100%	%	%	%	%
	定期考査 (素点)	平 常 点										
100%	%	%	%	%								
	期末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="2">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>70%</td> <td colspan="2">出欠・提出・小テスト・授業態度 30%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点		70%	出欠・提出・小テスト・授業態度 30%					
定期考査 (素点)	平 常 点											
70%	出欠・提出・小テスト・授業態度 30%											
3学期	学年末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td colspan="2">平 常 点</td> </tr> <tr> <td>70%</td> <td colspan="2">出欠・提出・小テスト・授業態度 30%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平 常 点		70%	出欠・提出・小テスト・授業態度 30%					
定期考査 (素点)	平 常 点											
70%	出欠・提出・小テスト・授業態度 30%											

6. 生徒の皆さんへ

この数学Aでは1, 2年生の復習からさらに考えを推し進めてより発展的な内容の事項まで考察していきます。みなさんが数学に向かい合うとき、必ず助けになるものです。また、より発展的な事項について考察し処理することによって、創造性の基礎を培っていきましょう。